

## I 運動の基本方針

老人クラブではこれまで、「健康・友愛・奉仕」という3本の旗印のもと、「健康づくり・介護予防活動」に取り組み、高齢者全体にその活動の輪を広げるとともに、閉じこもりや孤立を防ぐ「友愛活動」、地域の安全・安心を守る「子どもの見守り」や「消費者被害防止」の活動などを行い、地域の安全と安心に貢献して参りました。

一方、老人クラブの会員数は平成10年頃をピークに減少に転じ、高齢者が増加しているにもかかわらず老人クラブ会員数は減少しているという状況にあるため、平成26年度から5年間にわたり「100万人会員増強運動」を全国展開してきましたが、運動開始時と比較してさらに105万人の会員減少という結果となりました。本県においても、減少の動きに歯止めがかけられず、熊本市を含め約2万8千人の減少となりました。

我が国の総人口が減少する中、人生100年時代を見据え、誰もがその能力を発揮できる一億総活躍社会の実現に向けて、全世代型社会保障の基盤強化の取り組みが進められていますが、高齢者を取り巻く環境は、医療・介護・年金の何れをとっても厳しさを増している状況にあります。なかでも介護保険法制度の改正によりすべての市町村で新しい介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みも進んでおり、同事業における老人クラブの役割にも期待感が増しております。

このような状況を鑑みて、私達老人クラブは、誰でも「参加してみたい」と思えるような「魅力ある老人クラブ活動づくり」に取り組み、引き続き会員増強を図るとともに、私たちの強みである組織力をもって取り組んできた活動実績を活かし、行政や社協を始め関係団体と連携し、健康長寿の延伸と地域における支え合い活動を広げ、地域の安全・安心づくりに取り組むこととします。

### 公益事業の4つの柱

- 1 健康づくり・介護予防活動の推進
- 2 地域支え合い活動の推進
- 3 活動活性化に向けた取り組み
- 4 熊本地震被災者支援及び復興活動の推進